

本時のねらい

○『思いやりのデザイン』での学習を生かし、筆者の考えとそれを支える具体的な例との関係に気をつけながら、段落の構成を考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートスクールのテキストを活用し、『アップとルーズで伝える』の段落を並べ替える。
- ・ロイロノートスクールの提出箱での回答共有機能を活用し、考えを比較できる。

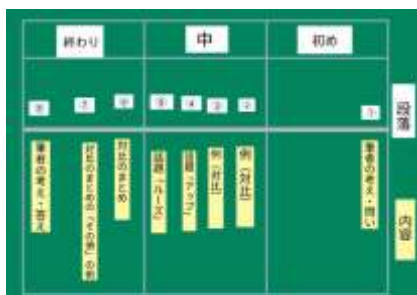
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートスクール
- ・プロジェクター
- ・スクリーン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時のめあてを確認する。 「段落のつながりを考えよう。」	・ロイロノートで、段落番号と内容を色分けし、考えるときにわかりやすくする。
展開 (35分)	○「アップとルーズ」の本文に段落の番号をつける。段落番号と内容の結びつきを考えた後、「はじめ」「中」「終わり」の3つに分類する。 ・注目すべきところ（つなぎ言葉、筆者の伝えたいキーワード）を意識して、教科書に、段落と内容を考える上でつながりのある言葉に線を引く。【写真1】 ○交流する。 ・自分の考えを担任に提出し、他者の考えを参考にしながら、再検討する。 ・考えを比較することで、その考えの根拠となるつながりのある言葉について検討する。【写真2】	・ロイロノートの回答共有機能を活用し、話し合う。 ・話し合った中で、気づいたことや変更したいことが出てきたら、線を引いたり移動させたりして良いことを伝える。
まとめ (5分)	○まとめる。 ・分かったこと、考えたことをノートに書く。【写真3】	・本単元の学習後、再度段落の並び替えをすることを伝える。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 段落番号と内容を「初め」「中」「終わり」の3つに分けているタブレット画面



【写真2】 ペアで話し合っ、自分の考えを再検討している場面



【写真3】 繰り返りのノートの例

児童生徒の反応や変容

- ・並び替えが容易にできるため、つながりのある言葉を見つけながら、意欲的に取り組めた。
- ・回答共有や比較することで、自分の考えを再検討することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・分類を行う学習では、何度も移動させることが可能なことから失敗を気にせず作業ができる。
- ・ノートではなくタブレット端末で行うことで、学習を進めていく過程や単元終了時など、自分の考えが変わったときにいつでも並び変えることができる。